

第4号議案(1) 平成29年度予算の概要

平成29年5月9日
事務局主任 千葉 智也

特定非営利活動法人手をつなご

平成29年度(第16期—平成29年4月1日～平成30年3月31日)

予算の概要

1. 総論

平成29年度は、小規模保育園運営開始に伴って、収入は大幅な増額となる見通しである。収入の予測額は¥184,100,000弱となり、前年比28.1%増になる予定である。その内訳は、事業収益¥172,094,000、受取補助金¥11,500,000の二つ、すなわち公的機関よりの受託料・補助金、が99%を占める状態となっている。

支出においては、継続的に行っている賃金の改定や小規模保育所運営開始の影響による人件費の伸びを見込んでいる。一方で、その他経費(消耗品等)は各事業所の運営に大きな変更を及ぼす要素がなく、ほぼ例年通りの支出となる。この結果、法人の人件費率は過去最大の87%程度となる予定である。なお、本年度より、社会保険労務士・税理士の顧問報酬は従業員定数の割合によって各事業所に費用配分を行うこととした。

本年度、各予算が全額執行された場合の正味財産増減額は¥23,881となる予定である。

2. 各事業所の収支について

(1) 事務局(管理部門)

本年度の事務局(管理部門)については、昨年度3月に常勤一名を採用したために、人件費の増加を見込んでいる。しかし、その他支出に関しては大きな変更がないため例年通りの支出となる。

(2) 貫井子ども家庭支援センター

本年度は、これまで行ってきた事業に新たな事業が追加されたため、受託料収入は増加する。しかし、ひろばの人員増や待遇改善等により受託料収入の増加分は人件費支出に回るため、収入・支出の差に関しては、大きな変更は出ないことが予想される。

(3) 関子ども家庭支援センター

本年度は、事業の拡張により、受託料収入が増加する予定である。これに伴う新規採用、及びひろば従業員の欠員補充、待遇改善等の費用により、人件費増加が見込まれており、収支はほぼ横ばいを予定している。

(4) 小規模保育園手をつなご石神井台

本年度は、開設初年度の運営となり、人件費、特に残業等の費用を多めに見積もっている。このため、収支はほぼ均衡となる予定である。

(5) あいあいあい東大泉

本年度も引き続き、民設のひろば事業の区補助金を得て運営を行う。人員の入れ替わりはあったものの、増減がないため、本年度の収支の内容に大きな変化はないことを予定している。

(6) あいあいあい南大泉

本年度は、民設のひろば事業と一時預かり加算事業の区補助金を得て運営を行う。新施設への移行が一段落となったため、昨年度と比べると支出は減少することとなる。

(7) あいあいあい石神井台

本年度は、民設のひろば事業と一時預かり加算事業の区補助金を得て運営を行う。従業員の入れ替わりはあったものの、人員の増減はなく、収支の内容に大きな変化はでないと考えられる。

(8) 一時託児サービス事業

本年度は、新たな取引先の獲得があり、各受注先からの出張保育依頼の回数の増加も見込まれている。しかしながら、これに対応するための人員配置増や支出の増加を見込んでいるため、支出超過が予測されている。

(9) 地域交流事業

昨年度、予算の執行は行われなかった。本年度も、大幅な支出を伴う事業の実施の予定はないが、昨年同様、今後の法人独自事業を行う基礎作りを行えるようにするため、少額であるが予算建てを行った。

(10) その他子育てに関わる事業

その他子育てに関わる事業においては、①保育サポーター講習会、②法人設立20周年行事の2つを中心に予算化した。前者に関しては、昨年度より多くの補助金が配分されており、法人の持ち出しが若干少なくなる予定である。後者に関しては、まだこれからということであるが、会場や会食などに関わる費用を予算化した。

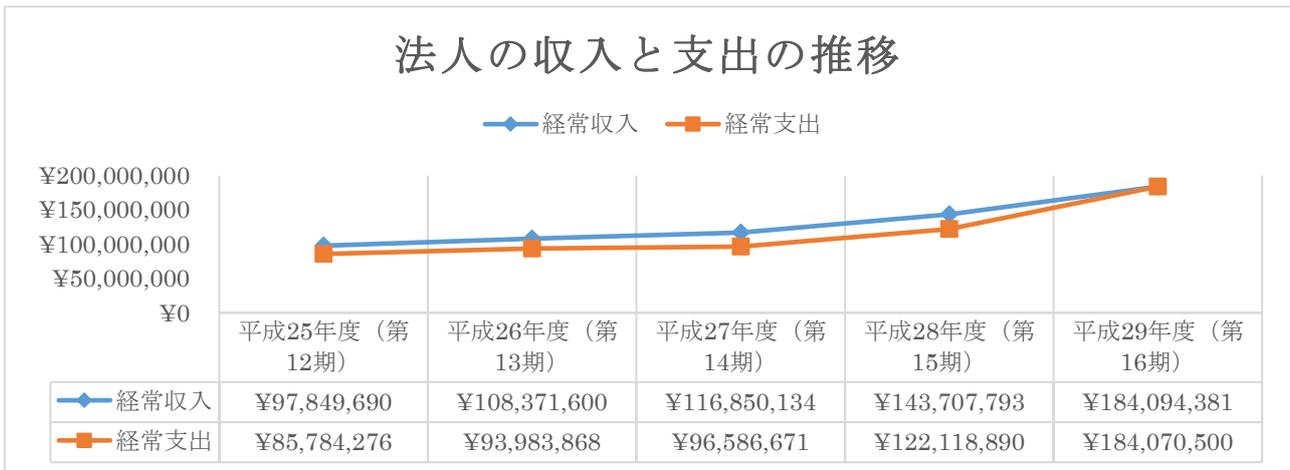
3. 平成29年度の収支予測

平成29年度は、ほぼ収支が均衡をすることを見込んでいる。

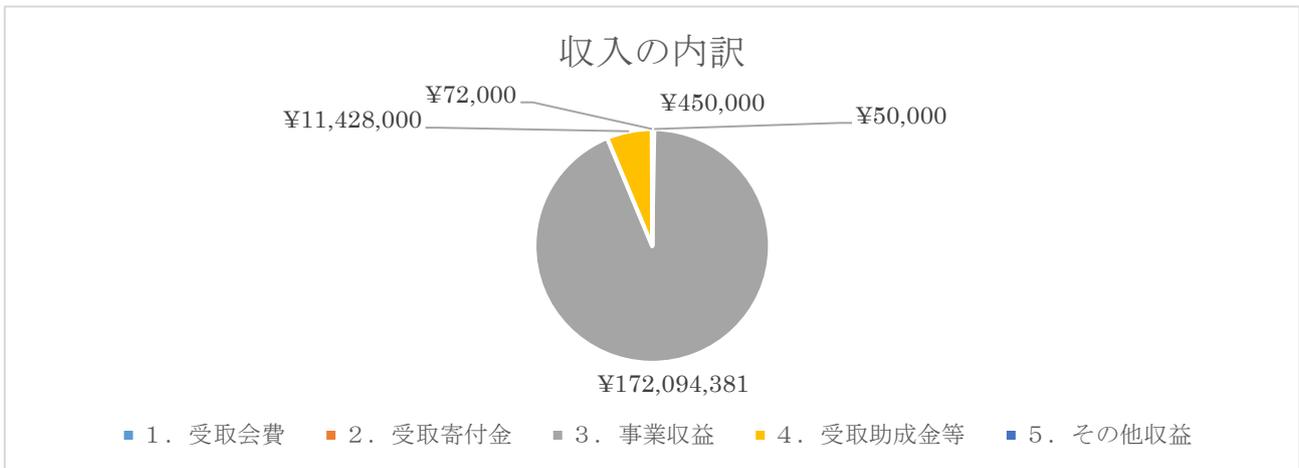
以上

<資料>

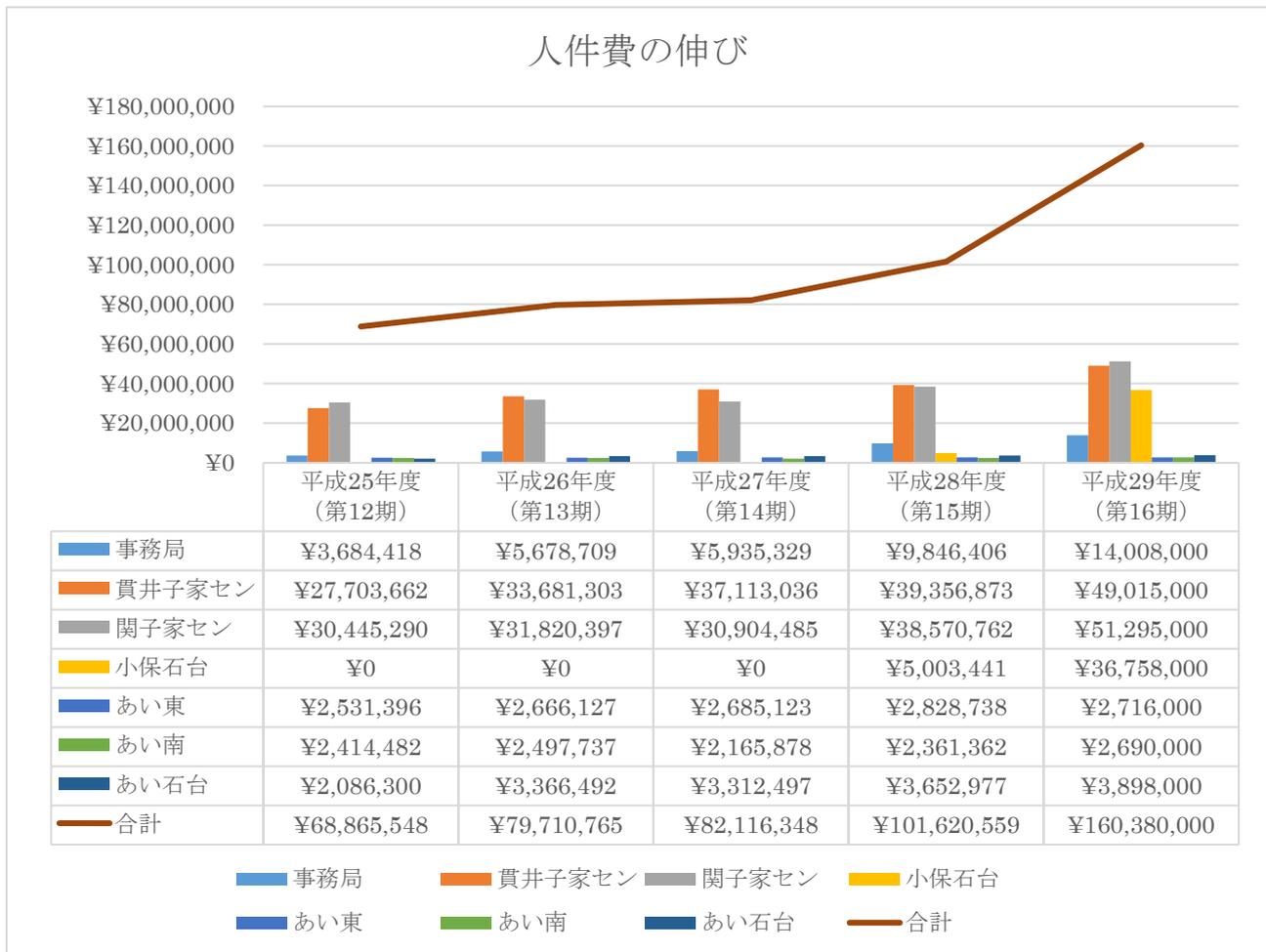
1. 法人の収入と支出の推移予測



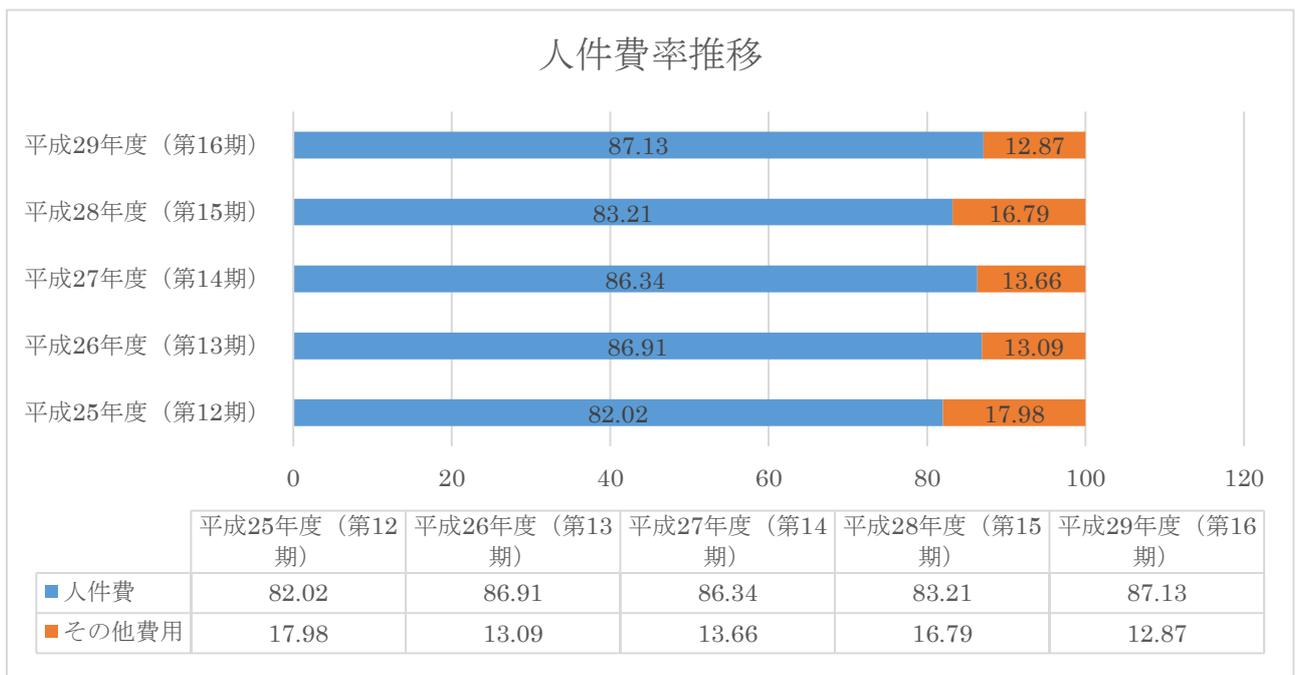
2. 収入の内訳予測



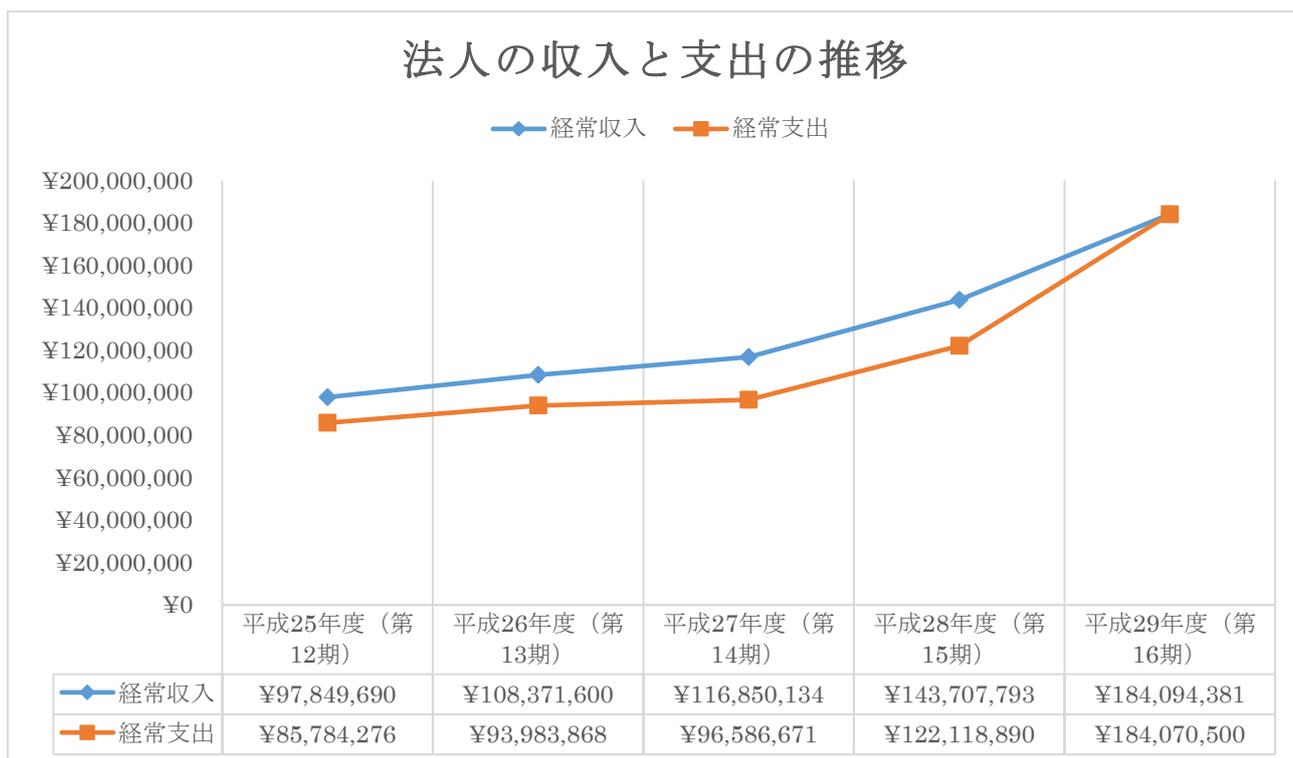
3. 人件費の伸び予測



4. 人件費・その他費用率推移予測 (%)



5. 正味財産（法人の資産）総額の推移予測



6. 正味財産増減額の推移予測

